



みつくura



《 北米産大豆 》

○13/14年 世界及び米国大豆生産予測・需給予測

米国農務省が9月12日発表した、13/14年度の世界及び米国大豆生産高予測によれば、生産量は先月と比較してアメリカで下方修正、ブラジルで上方修正となり、期末在庫はブラジル等で増加することとなっております。

13/14年産世界大豆生産・需給予測

生産量	2億8,166万t	(対前年比	5.3%増)
消費量	2億6,889万t	(対前年比	4.3%増)
期末在庫量	7,154万t	(対前年比	16.2%増)
期末在庫率	26.6%	(対前年度差	2.7ポイント増)

13/14年産米国大豆生産・需給予測

生産量	8,571万t	(対前年比	4.4%増)
消費量	4,816万t	(対前年比	0.8%減)
輸出货量	3,579万t	(対前年比	4.2%増)
期末在庫量	408万t	(対前年比	19.6%増)
期末在庫率	4.8%	(対前年度差	0.7ポイント増)



○2013年産アメリカ大豆着サヤ率及び作況状況

米国農務省が3日に発表した、9月1日現在の米国大豆着サヤ率は、主要18州平均で92%（前週84%、前年98%、平年96%）と、平年比で4ポイント下回りました。

一方、作柄状況は、主要18州平均で、普通31%（前週29%、前年33%）良好43%（前週46%、前年26%）、優良11%（前週12%、前年4%）となっており、優・良合わせて54%で前週より4ポイント低下しています。

また、9月上旬に現地視察された商社情報によれば、ミネソタ、アイオワ州境付近東部では作付後の洪水被害により再播種を行わなかった農家が多く、収穫放棄となる畑が多く確認されているそうです。また、両州の西部においても天候不順から子実肥大が遅れが不安視されており、イリノイ州西部も同様の状況とのこと。

一方、インディアナからオンタリオにかけては、平年並みの収穫が見込めるのではないかとの情報もあります。今後も天候・作柄の情報を見定めていく必要がありますが、上記の情報から、現時点で予測される2013年産米国産大豆の動向として

- ① 単収の下方修正がある可能性があり、相場上昇の材料となる。
- ② 未熟粒や石豆発生の可能性が高く（ミネソタ・イリノイ・アイオワを中心に）品質不良の可能性もある。
- ③ ①の理由から、北米産NON-GMO大豆の供給力が低下し、年度途中での追加契約が難しくなる。

といったような事柄が考えられます。

三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL: <http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

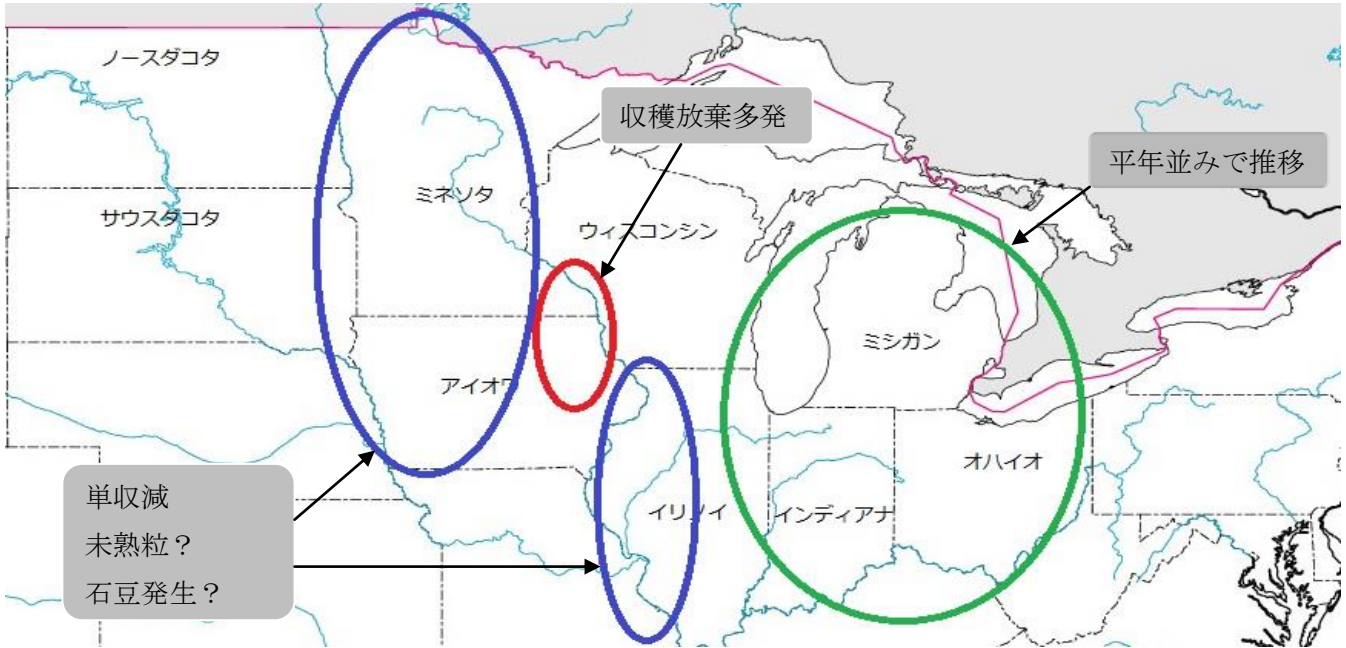
<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>



LET IT BEANS 食を創るパワフルカンパニー



みつくら



《 トピックス 》

○平成25年産国産大豆産地情報

去る8月28日、弊社が契約栽培を行っております『JA つがるにしきた』嘉瀬地区のオクシロメ圃場の視察を行いました。

6月初旬までに播種が終わり、6月の高温少雨、7月は一転して降雨が多くなった天候の中、一部の圃場を除いた多くの圃場で2回の中耕培土を実施できており、生育については順調に推移しております。虫害についても、適期に防除を実施できているので、被害の可能性は低いと思われるとのことです。

現時点での予測ではありますが、おそらく例年並み以上の生産量、品質になるものと思われます。



三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町 1-4-7 TEL 022-232-6151

URL: <http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>